

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況 (2022年7月度)

- 参加手続きが完了しているISP (インターネット・サービス・プロバイダ) は**72社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**4,506件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**2,250件**の対象を検知しISPへ通知。

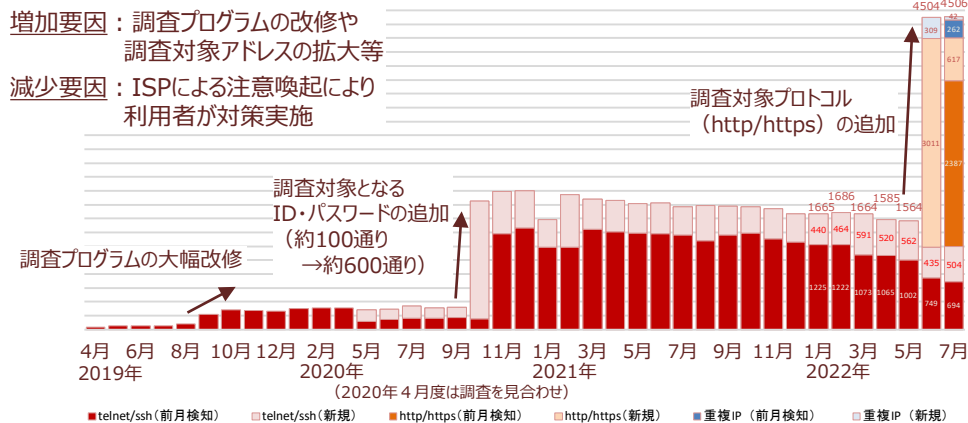
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

4,506件 (6月度:4,504件)

(参考) 2019年度からの累積件数: 48,236件
ID・パスワードが入力可能だったもの: 18.4万件

* 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



NICTER注意喚起※の取組結果

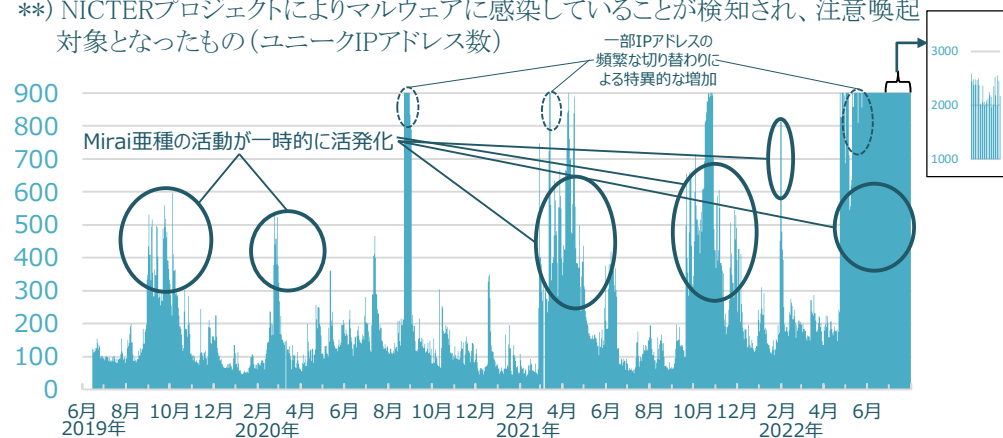
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均2,250件 (6月度:2,489件)

(参考) 期間全体での値: 1日平均360件
最小: 40件(2021/2/10) / 最大: 3,288件(2022/6/6)

** NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの(ユニークIPアドレス数)



- ✓ NOTICE注意喚起における2022年6月以降の大幅な増加は、調査対象プロトコル (http/https) の追加によるものであり、急激にリスクが高まった訳ではありません。
- ✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬以降の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。